

平成27年度 研修支援事業  
「はなやままるごと自然博物館」事業報告

- 1 趣 旨** 地元にある花山小学校と連携し、教科学習及び総合的な学習の時間を支援し、花山の自然を活かした学習活動を展開する。
- 2 共 催** 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家  
宮城県栗原市立花山小学校

**3 実施期間** 平成27年4月～11月

**4 対 象** 花山小学校児童 1年生～6年生 24名

学年	1	2	3	4	5	6	計	
男子	5	3	0	2	2	0	12	24
女子	2	3	2	3	0	2	12	

**5 活動計画**

回	期 日	対象学年	内 容・テーマ
1	7月 8日	5・6年	水生生物観察・水質調査 「沢の生き物から水質を調べてみよう」
2	7月16日	3・4年	花山地区砥沢下流部探検 「花山ダムに流れる川を探検してみよう」
3	8月26日	1・2年	花山地区砥沢下流部沢遊び 「沢の“水”で遊ぼう」
4	8月27日	5・6年	花山地区砥沢岩石採取・地質調査 「沢の岩石・地層を採取して観察してみよう」
5	9月30日	3・4年	花山地区御駒山登山・植物観察 「ハイキングを通して森林の働きを考えよう」
6	10月22日	1・2年	自然の家フィールド木の実拾い・クラフト 「秋となかよし」

**6 実施状況**

(1) 第1回：【5・6年生】

5・6年生が水生生物の観察を通して、児童の身近にある砥沢の水質調査を行った。自分たちで採取した生物を解剖顕微鏡で観察しながら分類し、水生生物の割合から水質を判定した。子どもたちは、沢に住む生き物の奇妙さに驚きながらもスケッチしたり分類したりすることができた。活動を通して、身近に流れる砥沢の水質の良さに驚き、故郷の自然の美しさを意識することができた。



(2) 第2回：【3・4年生】

3・4年生が学校の花山ダムに流れる砥沢の下流部探検を行った。天候にも恵まれ、沢の中を歩きながら、水の美しさや沢を取り巻く緑の美しさを感じることができた。身近な自然の美しさを直に感じるとともに、身近なダムとそこに集まる水のつながりを考えさせることができた。



(3) 第3回：【1・2年生】

1・2年生が沢の自然環境を体全体で感じ取りながら沢遊びを行った。あいにくの雨の中であったが、沢の中を遡行したり淵での水遊びを楽しんだりした。自然の美しさを感じるとともに、自然の厳しさも感じたひと時だった。天候が悪かったため、早めに切り上げて自然の家館内探検を行った。



(4) 第4回：【5・6年生】

5・6年生が砥沢上流部の岩石を採取し、自分が住む地域の大地の成り立ちについて学習した。沢にある石を手に取り、石の色や手触りによる質感を観察したり、ハンマーで石を破碎したりして、石の硬さや中の様子を観察した。採取した石を自然の家を持ち帰り、ルーペで観察しながら石の種類を学んだ。火山の働きでできた水晶をはじめとする数々の石の成り立ちに驚きの声を上げながら興味深く観察していた。



(5) 第5回：【3・4年生】

3・4年生が身近にある御駒山に植物の観察をしながら登山を行った。自然の家キャンプ場から御駒山までオリエンテーリングの地図を見て地図上での自分たちの位置を確認しながら登っていった。小学校の近くにある身近な山だが登ることがないため、山頂からの景色に子どもたちはとても驚いていた。



(6) 第6回：【1・2年生】

1・2年生が自然の家周辺で集めた木の実を使ったクラフトを行った。今年は木の実が豊作でたくさんの木の実を拾い集めることができた。ハロウィンが近いということもあり、帽子に木の実の装飾を行い魔法使いの帽子を制作した。どんぐりやまつぼっくり、木の葉などを思い思いにつけ、個性あふれる帽子が出来上がった。



## 7 成果と課題

(1) 成果

- ・子どもたちと先生方との信頼関係を築き、円滑に6回の日程を進めることができた。
- ・継続して事業を行っており、小学校と自然の家との協力の様子が学校だより等を通じて地域の方々にもよく伝わっている。
- ・専門職の得意分野を活かし、小学校の各教科の学習内容をより深化する形で活動を提供しており、子どもたちの興味関心を高めることができた。

(2) 課題

- ・専門職の専門分野がそれぞれ違うため、職員の異動によってそれまで行っていた教科学習を提供できない場合がある。
- ・年6回の実施であるが、自然の家の繁忙期、他事業と重なることが度々ある。職員の配置を担当だけでなく他職員の協力を得られるような調整が必要である。